

道内空港の空港別収支の試算等について

資料5

1. 平成21年度道内空港の空港別収支(キャッシュフローベース)

(百万円)

科 目	合 計	道 内 空 港													
		新千歳	稚 内	釧 路	函 館	丘 珠	旭 川	帯 広	女満別	中標津	紋 別	奥 尻	利 尻	礼 文	
<b>歳入項目</b>															
着陸料等収入	9,383	7,305	80	273	575	38	429	256	348	45	26	0	8	0	
土地建物等貸付料収入	1,142	909	0	25	82	27	27	4	46	1	1	8	12	0	
<b>歳出項目</b>															
空港等維持運営費等	7,870	3,246	460	665	747	277	745	386	501	259	266	101	213	4	
土地建物借料	57	0	0	10	2	0	13	13	0	0	19	0	0	0	
固有資産所在市町村交付金	407	168	11	53	76	17	10		18	13	15	15	11	0	
歳入項目の合計	10,527	8,214	81	298	657	66	456	260	394	46	27	8	20	0	
歳出項目の合計	8,334	3,414	471	728	825	294	768	399	519	272	300	116	224	4	
歳入・歳出差額	2,193	4,800	-390	-431	-167	-228	-312	-139	-125	-226	-273	-108	-204	-4	

(参考)

「着陸料等収入」～着陸料、停留料、保安料収入などを計上

「土地建物等貸付料収入」～土地、建物等の貸付による貸付料収入を計上

「空港等維持運営費等」～人件費、庁費等、滑走路等の維持運営費等(離島空港については、ターミナルビルの維持運営費を含む)を計上

「土地建物借料」～土地、建物等の借用による支払借料を計上

「固定資産所在市町村交付金」～固定資産の所在する市町村に交付する交付金を計上

※道内空港の収支試算については、国土交通省が示している4つのパターンのうち、パターン④(一般会計財源非配分かつ空港整備関係歳出・費用除外型)に準拠して作成。

※国管理空港については、国土交通省の資料に基づいて作成。

※奥尻空港の着陸料については、20万円程度であり、百万円に満たないため、0と記載している。

※礼文空港については、平成21年度から休止中。

2. 道内空港の整備費(5年間の平均)

(百万円)

科 目	合 計	道 内 空 港													
		新千歳	稚 内	釧 路	函 館	丘 珠	旭 川	帯 広	女満別	中標津	紋 別	奥 尻	利 尻	礼 文	
空港整備費	8,819	4,823	648	611	922	126	248	183	795	394	57	4	4	4	

(参考)

※空港整備費については、国土交通省の資料に基づいて作成しており、平成19年度から平成23年度の5年間の総事業費(予算ベース)の平均で算出。

3. 平成21年度道内空港関連事業の収支

(百万円)

科 目	合 計	道 内 空 港													
		新千歳	稚 内	釧 路	函 館	丘 珠	旭 川	帯 広	女満別	中標津	紋 別	奥 尻	利 尻	礼 文	
売上高	46,837	41,489	169	710	1,836	209	1,257	428	420	233	86	—	—	—	
営業損益	2,999	2,045	36	65	363	32	246	102	84	5	21	—	—	—	
経常損益	2,147	1,441	35	18	214	29	215	103	74	-0.5	19	—	—	—	

(参考)

※空港関連事業の収支は、空港ターミナルビル事業者の単体決算及び当該空港の駐車場事業者の収支を単純合算。

※国管理空港については、国土交通省の資料に基づいて作成。

※離島空港のターミナルビルについては、道が設置し、管理運営を地元自治体に委託しているため、これらの収支については、1. の空港別収支に含まれている。

※女満別空港の駐車場事業者の収支については、企業会計ベースではないため、含めていない。なお、収支としては、約4百万円の黒字(平成21年度)となっている。